



中 嶋 秀 一
(自民公明クラブ)

投票所までの移動困難者に タクシー料金等の補助を

他市の事例を参考に検討する

問 投票所への移動が困難な方に対し、介護タクシー等の料金を補助する考えは。

答 対象者の範囲をどうするかなどの検討課題があることから、今後の人口減少を見据えた中での投票区の再編、投票所の統合も視野に入れ、他市の事例を参考に検討していく必要があると考えています。

問 高齢者の入浴料金の一部を助成する考えは。

答 市民の家において、満60歳以上の市民の方を対象に、大人一人当たり310円の料金を100円安い210円とし、間接的に助成しています。

問 車のない高齢者は焼山地区まで行くのが難しいため、市内の公衆浴場と提携しては。

答 高齢者の閉じ籠もり予防や生きがいづくりなど、介護予防につながるものと思いますが、助成に係る経費や関係団体との調整など課題があることから、助成の考えはありません。

問 市では、特定空家等の物件に対し勧告を出していないようだが、その理由は。

答 市で認定した特定空家等は、直ちに倒壊する恐れはなく、第三者に危害を及ぼす可能性が低いと判断し、指導にとどめています。

問 相続人がいない場合や、相続放棄をした場合など、相続人不存在で相続財産法人となった空き家は市内に何件あるのか。

答 11月末現在で47件あると把握しています。

問 相続人不存在の物件に対し、今後解体や更地へと具体的に進める計画はあるか。

答 立地条件や第三者への影響があるかどうかを考慮しながら、市が相続財産清算人の選任請求をすべきかどうかも含め、今後空家等対策庁内検討委員会等で検討していきます。



笹 淵 峰 尚
(黎明親和会)

GIGAスクール構想の効果は

自ら考える学習形態が 進み、効果が上がっている

問 GIGAスクール構想により、1人1台学習用タブレットが配備され、学校内の無線LANやICT環境が整えられるなど、質の高い学びの環境になったと思うが、その効果は。

答 学級全員の考えを共有ソフトで可視化することで、瞬時に多様な考えに触れることができ、自身の考えを再検討することが容易になり、一方的に教わるだけではなく自ら考える学習形態が進み、効果が上がっていると考えています。

問 子供の学習意欲向上等のため、端末を使って海外校との交流や意見交換を行ってはどうか。

答 希望する学校があった場合は、ICT支援員や外国語指導助手を派遣して交流を支援するなど、協力していきます。

問 少子化や未婚化、独身率が高まる現代、若い女性が就職等で地元から離れることが婚姻減の一因と考えるが、就業機会を創出する施策は。

答 再就職や就業継続のため、女性の活躍支援セミナーを実施し、就業意欲の向上やスキルアップに役立てていただいています。

問 特に人口減少が進む地域における約10年後の推計人口と高齢化率は。

答 令和17年までに十和田湖小学区が45%減少し125人（高齢化率55.2%）、四和小学区が39%減少し681人（同59.5%）、沢田小学区が34%減少し838人（同56.2%）と推計されます。

問 子供の遊び場確保のため、JCキッズパークwith松陽に対し支援する考えは。

答 地域で自主的に活動が展開されることは望ましい姿であると捉えており、十和田青年会議所や地元からの意見を伺いながら、支援策について検討していきたいと考えています。